

大二中を守ろう！



135・232 通信

大二中を分断する道路計画を考える会
代表 鈴木達夫 東京都練馬区東大泉 6-18-3
連絡先 鈴木 03-5934-5658
2025年(R7)11月30日発行 号外

道路に地域の「合意」なし 区の説明会に200人！異論噴出!!

練馬区は11月7日と8日の両日、都市計画道路135号線・232号線の「事業概要及び測量説明会」を開催しました。大泉第二中学校の校庭、そして学校の周囲に広がる私たちの街も分断する二つの道路を造るためです。どんな説明会だったか。ぜひ報告をお読みください。

お知らせは道路予定地と沿道だけ

この日の説明会についてのお知らせは、道路予定地とその両側30mの範囲に配られただけでした。それでも説明会への参加者は二日間で合わせてなんと205名にもなりました。住民の関心の高さを物語る、すごい数です。そしてもっとすごいことは、説明会の中で出されたたくさんの発言のほぼすべてが区の道路計画に對して疑問や不安、反対の思いをぶつけるものだったことです。

「大二中が心配」の声多数！

参加者の発言の中では、やはり大二中の教育環境への影響を心配するものがたくさんありました。校庭が狭くなること、そのぶん校舎から離れた第2運動場を使うしかないけれども子どもたちの移動は大丈夫か、先生たちの負担が大きくなってしまうのではないかなど、具体的で説得力のある指摘が相次ぎました。

「学芸大通り」こそ優先すべき

そして、もう一つ、たくさんの方が触れたのが学芸大通りの拡幅です。学芸大通りの交通量自体が減ってきている、拡幅を進めて行けば交通環境は大いに改善する、なぜ交通量をきちんと測らないのか、等々。学芸大通りやロードふじみの危険性を言うなら、完成まで10年以上はかかる新しい道路の前にやることがあるだろう！そんなご意見です。もっとも!!

地域の合意はできていない！！！

「交通渋滞」も「防災」も、区が新しい道路が必要だという根拠を問う発言も相次ぎました。しかし、区の担当者は同じ説明を繰り返すばかり。「結論ありきじゃないか」という厳しい批判も飛び交い、参加者からは再度の説明会を開催するよう要望が出される始末です。区は「やるやらないも含めて検討する」と答えています。宿題です。

- ◎区に対し再度の説明会を要求しましょう！
- ◎現況測量も用地測量もお断りしましょう！
- ◎地域住民の手で、住民が望む道路や学校、町のありかたを考えていきましょう！

今回の説明会の様子を見れば、この道路計画について地域の合意が全く取れていないことは明らかです。練馬区は、このまま測量などの作業を進めるべきではありません。道路計画は、必要性からていねいに検証し見直しを行うべきです。

詳しくは、公式HP



または公式LINEから

